

## 学びの部屋 ～1年生～「あさがおのめが できてきたよ」

5月の中旬に朝顔の栽培セットを御家庭にお持ち帰りいただきました。種まきや観察の様子をお聞きし、楽しんで栽培している様子を伺うことができ嬉しく思っています。学校の朝顔も、小さくてかわいい芽が出てきました。出てすぐのときは茎は柔らかく、色は薄い緑色で「赤ちゃん」といった様子でした。次の日には双葉になり、葉の色もはっきりとした緑色になってきました。どんな花を咲かせるのか、今から楽しみです。

生活科では栽培を通して、植物が成長していることに気付き、植物が生命をもっていることや植物に親しみをもって大切にすることができるようになることを目標にしています。種から育てた自分の朝顔がどのように成長していくのかを継続して観察できるように指導していきます。

(岩田 寛子)

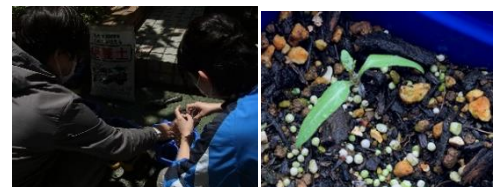


## 学びの部屋 ～2年生～「やさいをそだてよう」

生活科「やさいをそだてよう」では、野菜の栽培を行います。1年生の学習で朝顔やチューリップを育てたときには、天気や気温の変化によって水やりの量を変え、植物が育っていく様子を楽しみながら観察しました。2年生ではこのような経験を生かし、ミニトマトを育てていきます。本来ならば5月にミニトマトの種を観察して種を植える予定でしたが、今年度は臨時休校のために、担任が先にトマトの種を植えることとしました。子供たちが行う種植えは6月の学習活動で種を観察してから改めて行いたいと思います。また、学校ホームページに「ミニトマトについて」や「ミニトマトの種のまき方」の動画を掲載しているので御確認ください。

今後は、どのようにすればミニトマトがよく成長していくのかを調べたり世話の仕方を友達と話し合ったりして育てていきたいと思っています。

(浦波 美菜)



## 学びの部屋 ～保健室～「子供たちが健康に過ごすために」

緊急事態宣言が解除されて学校が再開しました。今回の感染症の流行は、手洗い・うがいや早寝・早起き、バランスの取れた食事と適度な運動など、新型コロナウイルスが流行する前から指導してきた「当たり前」の行動の大切さを改めて痛感する機会となりました。学校再開に際しては、「のど元過ぎて熱さ忘れる」前に、子供たちにこの「当たり前」の行動を今一度指導し、生涯にわたって心身共に健康に過ごすことができるよう、努めていきたいと思っています。

再開した学校では、授業の受け方や感染症予防の行動など、今までとは異なる点がいくつかあります。児童には、集団生活の場として、周りの人のことを考えながら新しい生活に慣れてもらう一方で、生活の中で感じる違和感や疑問を大切にしたいと思っています。「なんでこうなの?」「これはなんの意味があるの?」「もっとこうしたほうがいいの?」などの想いを、ぜひ教員や友達、そして家庭の中でたくさん話合ってもらいたいです。「疑問をもち、人と共有し、自分なりの考えを持つ」という体験が社会への関心や学校での豊かな学びにつながると考えます。

これからの季節は、感染症対策に加え、熱中症予防も重要になります。児童が健康に元気に過ごすために保健室からサポートをしていきます。保護者の皆様にも御理解と御協力をいただければ幸いです。

(養護教諭 村上 咲)